

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)

【公開番号】特開 2009-300856 (P2009-300856A)  
 【公開日】平成 21 年 12 月 24 日 (2009.12.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2009-051  
 【出願番号】特願 2008-156719 (P2008-156719)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 21/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 5 5

G 0 3 G 15/20 5 0 5

G 0 3 G 21/00 5 3 4

【手続補正書】  
 【提出日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

通紙する記録紙に熱を加えて、前記記録紙上の未定着の画像を前記記録紙に溶融定着させる加熱回転手段と、

前記加熱回転手段の非通紙領域を冷却するための送風手段と、

前記送風手段から送られる風を送風口から前記非通紙領域に案内する案内手段と、

前記案内手段の前記送風口を開閉する開閉手段と、

前記記録紙のサイズに応じて前記案内手段の前記送風口の開口面積を決定し、決定された前記開口面積に応じて前記開閉手段を制御すると共に、決定された前記開口面積に応じて必要送風量を決定し、該決定された必要送風量に応じて前記送風手段を制御する制御手段と、

を備えることを特徴とする定着装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、決定された前記開口面積に、前記非通紙領域を通紙領域と均一の温度に保つために必要となる単位面積当たりの前記送風手段の送風量を掛けることで、前記必要送風量を決定することを特徴とする請求項 1 記載の定着装置。

【請求項 3】

前記送風手段の送風量を検知するための検知手段を備え、

前記制御手段は、前記検知手段より検知された送風量と前記決定された必要送風量とに応じて前記送風手段を制御することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の定着装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記送風手段の回転速度と送風量との関係を表したテーブルを有し、

前記制御手段は、前記テーブルと前記決定された必要送風量とに応じて前記送風手段の回転速度を制御することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の定着装置。

【請求項 5】

請求項 1 記載の定着装置を備える画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するために、請求項1記載の定着装置は、通紙する記録紙に熱を加えて、前記記録紙上の未定着の画像を前記記録紙に溶融定着させる加熱回転手段と、前記加熱回転手段の非通紙領域を冷却するための送風手段と、前記送風手段から送られる風を送風口から前記非通紙領域に案内する案内手段と、前記案内手段の前記送風口を開閉する開閉手段と、前記記録紙のサイズに応じて前記案内手段の前記送風口の開口面積を決定し、決定された前記開口面積に応じて前記開閉手段を制御すると共に、決定された前記開口面積に応じて必要送風量を決定し、該決定された必要送風量に応じて前記送風手段を制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。